

# いのち、痛みに全力

FUKUOKA WAJIRO HOSPITAL 2005.12

地域医療により大きく貢献!!

第8号

平成17年12月

病院機能評価認定 臨床研修病院

医療法人財団 池友会

福岡和白病院



〒811-0213  
福岡市東区和白丘2丁目2-75  
TEL.092-608-0001  
E-mail:info@f-wajiro.biz  
http://www.f-wajiro.biz

## 『健康教室』のご案内

みなさんはある日突然「糖尿病」「心臓病」「脳卒中」などと診断されたらどうしますか？

それは食事、運動、休養、喫煙、アルコールなどといった生活習慣と関係しているかもしれません。

わたしたちは、これらの病気について理解を深めて頂くために「健康教室」を開いています。

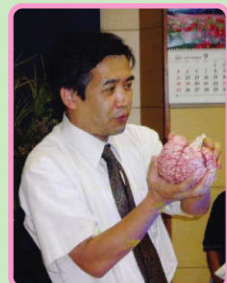
いつまでも健康でいたいものです。

あなたの地域でもこの教室はいかがでしょうか？

興味のある方、是非ご連絡下さい。



乳腺外科部長  
古賀 淳先生



東アジア  
脳神経センター長  
増田 勉先生



救急センター部長  
富岡 譲二先生



ハートセンター長  
齊藤 太郎先生



お問い合わせ先 福岡和白病院 地域医療室 担当/竹元・松下  
TEL.092-608-0001(内線1130)

※どなたでもご参加できます。どこへでもたとえ少人数グループでもお伺い致します。

### 福岡和白病院の基本理念と基本方針

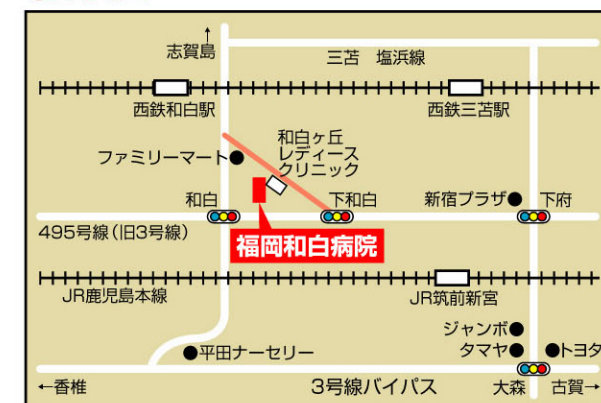
#### 基本理念

手には**技術**、頭には**知識**、患者様には**愛**を

#### 基本方針

1. 高度医療 学問的に、技術的に高い水準の医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。
2. 総合医療 患者様と医療情報を共有し、急性期治療から、早期リハビリ、在宅医療まで一貫した、患者様のニーズに沿った安全で安心できるチーム医療を提供します。
3. 地域医療 地域の医療・福祉施設と密接な連携を図り、いつでも誰でも安心して利用できる、救急医療に重点を置いた地域医療の中核病院を目指します。

#### 案内図

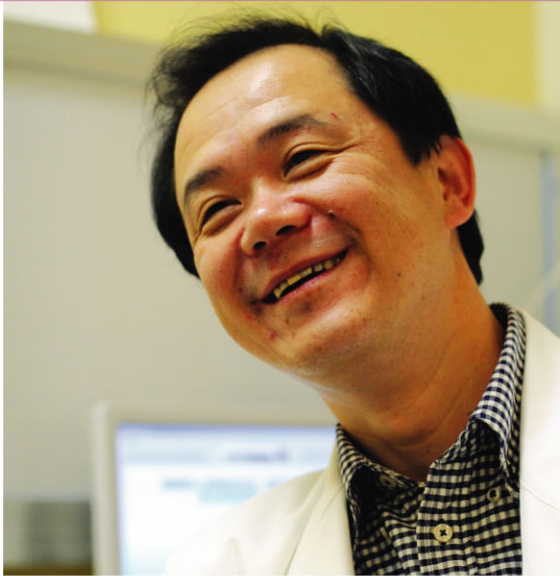


●河野寛幸氏・福岡譲二氏インタビュー

「ER」のシステムを日本中に構築したい！

収録日 二〇〇五年十二月一日  
取材・構成 森山真一

医療法人財団 池友会 福岡和白病院 救急センター長 河野 寛幸  
救急センター部長 福岡 譲二



近年、我が国でもER型救急システムが注目にされるようになってきた。とは言え、ERに関する概念と定義はまだ定着していない。  
簡潔に言えば、それは救急患者の初期診療と言えないだろうか。例えば救急車で運ばれて来た患者を、文字通り緊急に診察し、問診をいれずに専門医にバトンタッチする。そのコーディネーター役をするのがERの医師である。患者にとって、これほど頼もしいことはない。

このER治療に早くから関心を持ち、我が国のERの創始者の一人、とも言われているのが福岡和白病院の救急センター長・河野寛幸医師である。

そしてその河野医師とともに患者様を救うことが私の趣味と公言してはばからないのが、同病院の救急センター部長・福岡譲二医師。真に鬼手仏心のお二人にER型救急システムについて大いに語っていただいた。

河野 福岡先生は並直明けたところの「ER」について疲れのイロも見せず、元気に話さね。

福岡 私は月の内、約半分は当直をしているので、もう身体が慣れているわけですね。

それに、私は患者様を診察したり、治療したりして、喜んでほしいことが趣味になっています。

趣味でお給料を頂くのは申し訳ないですね(笑)

河野 私も、医療を単なる仕事とは思っていません。

目の前にいる患者様を、何とか助けたいという気持ちで自然な気持ちから行なっているものだと思います。

これが、いわゆる人間的と言えぬ医療じゃないし、社会、大衆が求めるものだと思います。

それが、福岡先生の「ER」の趣味とまを言えるのは、鬼に金棒と云うことですね。

福岡 河野先生にそのように言っていたら光栄です。

私は、河野先生の日本で模範となるような「ER」システムを構築したいという高邁な理想に引き付けられて、こ

きつていこうとあるんですよ。

それは、目の前で人が倒れた時に、傍にいる誰もが、救命処置を行なえるような心肺蘇生を普及させなければ、救命というには限界があるのではないかと。

福岡 私もそう思います。

倒れた人を救うのに、本当に大切なのは、倒れてからの最初の5分ですね。

119番に連絡して、救急車が到着するまでの5〜10分という時間に、何をやるかで、結果は大きく変わりますからね。

河野 そう、救急車を呼ぶだけじゃ駄目なんだよね。

7〜8年前から、私は、心肺蘇生の教育活動に力を入れているけど、実際に受講した人が、その技術や知識で、家族を助けたという報告を何度も耳にしたんですよ。

それを聞いて、やっぱり多くの人に普及させないといけないという気持ちが強くなりましたね。

福岡 河野先生は休みの日には、よく心肺蘇生法の講習会を行なっていますよね。

河野 そうですね(笑)  
最近、オーディオやウォーキングなんかの趣味をそっち除けてやっていますからね。

福岡 福岡先生は、平均で二日に11.5件、年間にする約四、二〇〇件もの患者様が救急車で搬入されていることを考えると、自分たちの周りでもいつ不測の事態が起こり、それらの技術が必要になるかわからないと思つたよ。

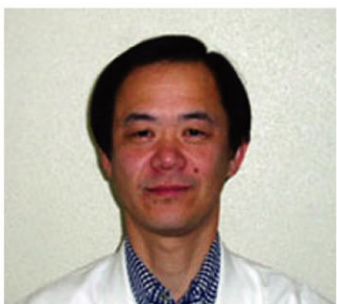
福岡 不測の事態と言えば、今年の3月に福岡でも大きな地震がありましたし、その時言った場合にも、医師や看護師だけではどう



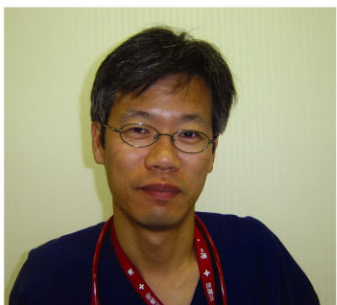
interview



ER



医療法人財団 池友会 福岡和白病院 救急センター長 河野 寛幸  
昭和32年生まれ。  
平成16年12月より、福岡和白病院に勤務。  
趣味は、オーディオ、ウォーキング。  
最近、休日に心肺蘇生法の普及のための、教育活動を行っており、これが趣味の一環になっている。



医療法人財団 池友会 福岡和白病院 救急センター部長 福岡 譲二  
昭和36年生まれ。  
平成17年4月より、福岡和白病院勤務。  
趣味は、仕事。  
災害医療にも熱心に取り組まれ、国際緊急救助隊などで、海外での医療活動にも積極的に参加されている。

Profile

福岡 そうですね。お互い健康には気をつけて、より良いERを築いていきましょう。

河野 「周りの理解と協力」それがERというシステムにも重要ですね。

福岡 福岡先生は、まだまだ和白病院のERは始まったばかりですが、実践しながら、このシステムを日本中に構築したいですね。

福岡 それも周りの理解と協力があったからこそできたことだし、感謝しています。

河野 「海外への援助活動は一九九七年のマレーシアを皮切りにボリビア、ウエネスエラ、エルサルバドル、アルジェリアなどいろいろ行かせてもらいましたね。

福岡 海外への援助活動は一九九七年のマレーシアを皮切りにボリビア、ウエネスエラ、エルサルバドル、アルジェリアなどいろいろ行かせてもらいましたね。

河野 福岡先生の原点は、少年時代の原体験からきていたんですね。

福岡 そうなんです。実は、以前は宮崎に住んでいて、6歳の時に大きな地震に遭いました。

この時、医師を含めて、日本中から助けに来ていただきました。その時の体験が、今の私につながっているような気がします。

河野 そうですね。福岡先生は幼少の頃、大きな地震に遭われたそうですね。

福岡 そうなんです。実は、以前は宮崎に住んでいて、6歳の時に大きな地震に遭いました。

河野 そうですね。福岡先生は幼少の頃、大きな地震に遭われたそうですね。

福岡 そうなんです。実は、以前は宮崎に住んでいて、6歳の時に大きな地震に遭いました。

河野 そうですね。福岡先生は幼少の頃、大きな地震に遭われたそうですね。

**基本理念** A total healthcare of high quality with a hearty smile.  
 笑顔と真心で より質の高い 総合健診をめざす



福岡和白総合健診クリニック統括部長  
**高木 洋次**

ついても、福岡和白病院東アジア脳神経センター長増田先生、福山脳外科部長のご指導により年間4千名を超える勢いを見せています。職員数も、パートを含めて50名と増えています。今後の目標として、人間ドック学会、総合健診学会を含め、学会発表を行うことにより、予防医学としての充実(質の向上)を図って行きます。

今後、日本でも有数の健診施設(質量)として、各方面の方々に、認知していただくことができるような、施設にして行くことが最大の目標です。

# 福岡和白総合健診クリニック紹介



福岡和白総合健診  
 クリニック統括部長  
**高木 洋次**

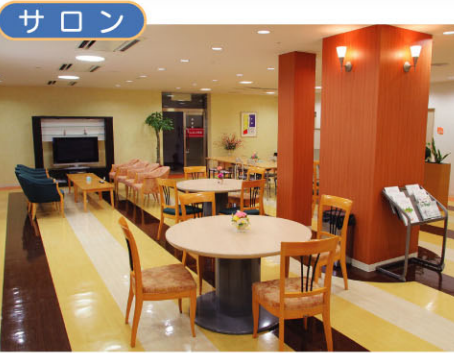


福岡和白総合健診  
 クリニック理事長  
**山永 義之**

博修会 福岡和白総合健診クリニックは、平成17年4月1日、予防医学部門の充実を目標に、福岡和白病院から独立しました。当初の予想では、受診者数月平均1千名、年間1万2千名、MAX/日50名を目標とし、PETドック年間3千名を目標として始まりました。職員数も、20数名でした。

開始当初の感想では、こんなに広いスペースを、お客様で一杯にする事ができるのだろうか。一つのクリニックとして、業務をやって行く上では、色々な担当部署が必要となることも不安の一要因でした。しかし、山永理事長、野田名誉院長、杉江院長、の協力もあり、順調な滑り出しを見せています。

健診の総受診者数、1万4千人、MAX80/日、PETドック4千名/年間予想と毎日盛況です。脳ドックに



福岡和白病院の移転から半年以上が経ちました。患者様を始め多くの方に、移転前から、「古い和白病院の建物は、一体どうなるのか？」という質問を多数頂きました。その旧福岡和白病院の建物は、福岡和白病院の健診部門とデイケア部門が、外観も新たに、1階を「医療法人社団博修会 福岡和白総合健診クリニック」、2階を「和白デイサービス」として、それぞれ独立し、新しく運営を行っています。また、3階より上の階については、介護付有料老人ホーム「わじろの郷」として利用されることも決まりました(H18・2・1オープン予定)。

こちらの詳細については、次回、お知らせできればと考えています。

今回は、「福岡和白総合健診クリニック」を中心に、新しくなったその内部をご紹介します。

## PETドックコースのご案内

各種コース	料金(税込)
スタンダードコース PET検査で疑わしい画像を、さらにCTによりチェックし、発見度を高めます。また腹部と甲状腺の超音波検査を追加しました。	89,250円
エグゼクティブコース PET検査に他の検査を組み合わせることで、さらに発見率を高めるコースです。	105,000円
ブレインコース PET検査に、腹部と甲状腺の超音波検査、MRI-MRAによる頭部の検査を加えた充実のコースです。	126,000円
スペシャルコース (1泊2日) 胃カメラを追加することで、胃ガンの発見率を高めます。	136,500円
ロイヤルコース (1泊2日) スペシャルコースにMRI-MRAによる頭部の検査、エルゴメーター、心臓超音波検査を加えた、まさに全身を検査するコースです。	168,000円
インペリアルコース (2泊3日) ロイヤルコースに血圧脈派、大腸内視鏡、骨盤MRIを加えることで、体の隅々まで検査する安全・安心のコースです。	210,000円

●ご不明な点や詳細についてはお気軽にご相談下さい

TEL.092-608-0138 HP.<http://www.fw-kenshin.net> mail.fw-doc@fw-kenshin.net

福岡和白総合健診クリニック

